

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和元年 11月12日掲載

1年1組 金子晴飛

僕が2回目の支援学校との交流で学んだことは、協力することです。

今回は自分たちで支援学校の友達を楽しめるおもちゃを考え、作り、交流することが目的でした。何をしたらいいか迷いましたが、キャラクターを描いたボーリングをすることにしました。僕が一番考えたことは、どうやったら楽しんでもくれるかということです。精一杯楽しい交流会になるように、班のみんなと協力して作りました。ピンの重さやピンの置き方、ルールもオリジナルのものを考えました。キャラクターを描くときも、ボールを転がすためのすべり台を作ったときも、班員みんなで支援学校の友達のことを考え、協力して作りました。交流会でルール説明をするとき、セリフがつまったりした時もみんなが助けてくれて、乗り越えることができました。

本番の交流会では、支援学校の友達が笑顔になり、喜んでいる姿を見ることができ、達成感でいっぱいになりました。僕もととても楽しむことができ、いい思い出ができたのでよかったです。今回、交流の機会を与えてくださったことに本当に感謝したいです。